

講演論文原稿の書き方

English Title

○ 生活太郎 (LS 研) 福祉花子 (機械大)

Taro SEIKATSU, LS Research Institute

Hanako FUKUSHI, Kikai University

[illegible]

Key Words: Wellbeing Science, Life Support, Welfare Engineering

1. 大見出し

1.1 中見出し

原稿余白は A4 判の白紙に上下各 2 cm, 左右各 1.5 cm の空白をとってください。

講演題目については、邦題を `\title{}` を用い、英題は `\etitle{}` を用いて、`\begin{document}` 前にて記入して下さい。

ページ上下余白には後日事務局にて大会名や講演番号、ページ数等を貼り込みますので、空白としてください。スタイルファイルの余白サイズの変更は行わないでください。

著者について \author{\#1\#2\#3\#4\#5\#6} とし、
\begin{document} 前にて記入して下さい。それぞれの要素については以下を記入して下さい。

#1： 著者の番号，通し番号を記入ください。

#2: 日本語氏名

#3: 所属 (略記)

#4: 英語氏名

#5：英語所属

#6: 講演者には 1 を記入. それ以外は無記入.

Abstract は \abstract{} を使用し、150 語以内で記載して下さい。また、キーワードは \KeyWrods{} を使用し、5 個以内で記載して下さい。

`\begin{document}` 直後に記入してある `\maketitle` ならびに `\setFormat` は消さないようにしてください.

1.2 本文

本文はスタイルファイルを用いると明朝体の9ポイント、2段組となり、中央に1 cmの空白があきます。また、原則1段26字一列60行となるように、文字間隔ならびに行間隔が設定されています。(1ページ約3120文字)

大見出しは `\section{}` を用いて下さい. また, 中見出しは `\subsection{}`, 小見出しは `\subsubsection{}` が使用できます.

本文で文献を引用する時は、文章の右肩に小括弧を付した番号を記入してください⁽¹⁾。 `\cite{}` が利用できます。文献は thebibliography 環境を用い、末尾にまとめてください。

`\begin{thebibliography}` の引数は引用文献が 10 編未満の場合は 9 を指定し、10 編以上の場合は 99 を指定して下さい。

数式関係はデフォルトで `amsmath`, `amssymb`, `bm` 環境が使えます。

Table 1 Table title

[illegible]

2. 図表

図表のタイトルならびに説明は英文（図表内を含む）で記載してください（例を参照）。図表は縮小しすぎると文字が読みにくくなりますので、ご注意ください。図表の余白へのはみ出しに注意して下さい。

3. 原稿について

原稿枚数は A4 版用紙 2~4 枚としてください。

4. 原稿提出方法

講演論文原稿は PDF ファイル（カラー可）に変換し、Web の原稿投稿フォームよりご投稿ください。その際、以下の点をご確認ください。

- ・ 環境依存の文字化け等を防ぐため、PDF ファイルにフォントを埋め込みこんで下さい。
- ・ 図表等が十分な品質となるように留意ください。必ず印刷して図の解像度、図中の文字の視認性などをご確認ください。
- ・ ファイルのサイズは 3 MB 以内にしてください。
- ・ 空白ページ等の余分なページが含まれていないかご確認ください。

- 原稿枚数:2~4枚
- 原稿提出締切:2022年6月17日(金)

Fig.1 Figure caption

本大会 LIFE2022 は、人の生命・生活を維持・向上させるための、生命関連分野、リハビリテーション・生活支援分野、生体計測・制御分野等における技術研究開発、利用技術に関する講演・発表をもって、社会貢献することをめざし、3学会（日本生活支援工学会、日本機械学会、ライフサポート学会）で合同の学術講演会を開催してまいりました。これは、研究開発側とユーザ側の相互交流を通じて、分野横断的な技術の融合を促進する場を提供するものです。さらに、学術・研究機関のみならず、医療機関・福祉介護施設や企業からの参加・会合を促進することによって、参加者が社会に根付く医工学機器の研究開発に向かうべく技術意識の高揚を目指しています。

本大会が取り扱う主な分野は下記の通りです。

- ・ 支援機器・リハビリテーション機器
移動支援機器・歩行支援機器・車いす・義肢装具・いす・福祉車両・福祉ロボット・パワーアシスト・福祉用具の設計・福祉リハビリテーション機器等
- ・ 生活支援
介護支援・在宅医療支援・訓練支援・就労支援・移動支援・感覚代行・コミュニケーション支援・情報支援・遊具・スポーツ・バリアフリー化・福祉建築・育児支援・生活支援技術一般
- ・ 生命支援
臨床検査・診断支援・治療支援・手術支援・人工臓器・再生医療・医用材料・救急医療・細胞工学・生命支援一般
- ・ 計測、制御、要素技術
生体計測・運動計測・画像処理・センサ・生体制御・電気刺激・アクチュエータ・ロボティクス・バイオメカニクス・機構・設計・インターフェース等
- ・ 社会基盤
安全性評価・福祉デザイン・環境評価・研究者倫理・実験倫理・標準化等

倫理的配慮

いかなる論文もすべてこの章を用意してください。

人を対象とした実験については、倫理審査委員会の許諾に関して明記して下さい。また動物を対象とした実験については、動物実験委員会の許諾に関して明記して下さい。申請番号や承認番号も記載してください。上記に該当しない研究の場合は「該当なし」と記載してください。

研究資金・利益相反

いかなる論文もすべてこの章を用意してください。

利益相反のある著者がいる場合は、その氏名とその利益相反について全て列挙してください。著者全員に利益相反が無い場合は、「開示すべき利益相反はない」と記載してください。利益相反（COI）についての詳細は日本医学会ガイドライン⁽³⁾をご参照ください。

謝辞

講演論文の研究に関連して、所属組織外から、公的あるいは私的研究資金や研究機材等の援助を受けている場合には、その内容を必ずここに明記してください。

参考文献

- (1) 著者名1, 著者名2, 論文タイトル, 論文誌名, vol.xx, no.xx, pp.xxx-xxx, 2009.
- (2) A. Author, B. Author and C. Author, Paper Title, Journal of Journals, Vol. xx, No. xx, pp. xxx-xxx, 20xx.
- (3) 日本医学会, ガイドライン, <https://jams.med.or.jp/guideline/index.html>, 2020.